

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		国の基準を満たしています。
	2 職員の配置数は適切であるか	4	2	国の基準を満たしています。余裕がないと感じることがあります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1	動線の確保・環境調整等は配慮しています。視覚支援で情報伝達されるよう都度改善に努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6		利用者に合わせた環境設定をし、毎日の療育終了後に整理整頓・清掃を行っています。また、コロナ感染対策として、換気・消毒等を行っています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6		職員が共通理解し療育終了後に振り返り・改善をして実践に繋げています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		実施しています。保護者等のニーズを把握し療育内容のバランスを取りつつ改善に努めていきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		公開しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6		第三者の評価実施には至っておりません。今後検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		社内・社外研修を継続して受講し、職員の資質向上に努めています。
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6		入学・進級時やお誕生月等に合わせてニーズを聞き取っています。また個別支援計画(案)を職員で検討し作成しています。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		Vineland IIを用いて行っています。
	12 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		分担して立案し、チームで検討しつつ共通理解しています。
	13 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1	コロナ禍で活動に制限もあるなかで、目標に合った固定化しない活動プログラムに心がけています。
適切な支援の提供	14 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6		夏休みの特別プログラムや祝日イベントプログラムを実施し支援しました。
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6		利用者のニーズや支援内容に合わせて、個別支援計画を作成しています。
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		打ち合わせて共通理解し、改善項目の確認や役割分担をしています。
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1	療育終了後、振り返り、情報共有が必要なことはすぐに伝達しています。その他、翌日以降には必ず情報共有しています。
	18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	毎回記録を作成しています。今後の支援のあり方を検討しています。
	19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		モニタリングを行い、個別支援計画の評価によって次の目標について判断しています。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		開催された場合は、児童発達支援管理責任者や療育担当者が出席しています。
関係機関や保護者との連携	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	2	保護者との情報共有をしながら、必要な支援を行っています。
	22 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2	必要な場合は情報共有し相互理解に努めています。
	23 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	✓	✓	学校を卒業し移行したご利用がありません。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	✓	✓	現在ご利用がありません。
	25 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	✓	✓	現在ご利用がありません。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	✓	✓	保育所等訪問支援と連携しています。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6		研修会に参加し研鑽を積んでいます。
	28 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6		保護者のニーズがあれば行います。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加しているか	6		参加しています。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	療育終了後に活動内容や利用者個人のがんばりを認め褒めどころを伝えています。学校やお家での様子を伺いつつ、支援のあり方を共有しています。
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6		ペアレントトレーニングを行っています。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		契約時や変更時に説明しています。また、不明点は都度、説明しています。
	33 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		必要に応じて面談の設定をしています。また、療育前後にお話することで助言と支援をしています。
	34 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6		ペアレントトレーニング受講者間などで、保護者同士の連携を支援していますが、保護者会等の開催については、今後、努力していきます。
	35 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	丁寧に適切に対応しています。
	36 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		毎月の「しおん」たよりやホームページのブログなどで情報発信しています。
	37 個人情報の取扱いに十分注意しているか	6		適切に取り扱っています。
	38 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		平易なことばの使用や配布文書のフォントの工夫、視覚での提示など配慮しています。
	39 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6		大宮校区安全マップ作成に参画して、児童の安全を図っています。
	非常時等の対応	40 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	
41 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		6		火災や地震の避難訓練を行っています。
42 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		6		保護者から必要事項について聞き取りを行っています。
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		6		ヒヤリハット事例を作成し共有し対策しています。
44 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		6		外部研修を受講するなど、職員間で伝達及び情報共有しています。
45 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	／		身体拘束の状況は現在ありません。	